

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- 環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています
- 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています

これまでの活動状況

5月31日時点

項目	2023年度 5月分	2023年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	1	1
	専門家派遣	1	1
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	5	5
	車座意見交換会	0	0
■環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	1	4
	小中学校など	0	0
	その他	0	0
・移動展示	0 (0日)	0 (0日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・内部被ばく検査 (WBC)の支援	4	6	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	0	9	

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線による健康不安等の各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています

◆研修会

- ・ 5/23 南相馬市

◆専門家派遣

- ・ 5/19 飯舘村



住民による山菜の放射能濃度測定と意見交換会に専門家を派遣

住民の質問や疑問に答える講師

◆住民セミナー

- ・ 5/17 南相馬市



「人生100年時代の学び直し講座」で、環境省職員からの講義と中間貯蔵施設の見学を通して、除染土の処理について学ぶ一般市民参加者

- ・ 5/31 田村市立船引南小学校

(環境再生プラザ)

市町村や学校などに環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示、地域とのコミュニケーションを推進しています

◆専門家派遣

- ・ 5/30 福島市環境再生推進室

◆移動展示の例



イベントブース内にて霧箱の放射線を観察する子どもたち (2022.5.29 いわき市)



SDGs博でなすびさんによる「ふく知るチャレンジ」クイズの紹介 (2022.9.24-25 郡山市)